事務事業評価表

部 長 課長 係 長 担当者

					令和 5	5年度	実施	事業							
事	業名		中	小企	業制度資	金利用	促進	進事業		担当課		商工観光	課		
基本	目標	4	活力と	にぎわ	いあふれる	産業のま	きち			担当係		商工振興	系		
施策	項目	4	工業・	企業誘	致					計画期間	令和 5	5年度 ~	令和5年度		
主な	取組	1	企業経	営の安	定化の支援			事業区分その他							
		会計	款	項	■					大事業					
予算	[科目	1	7	1 :	2		中小企業制度資金利用促進事業								
	と方針 _AN】		域経済 <i>0</i> 進めます		∶雇用の創と	出に向け	、既存	字企業の経営	営の安置	定化・活性化	だを支援する。	とともに、新た	≃な企業の誘		
	ṭ概要 _AN】	中	小企業 <i>0</i>)経営 ·	・設備に必要	要な資金	融資0	Ͻ円滑化を図	図るたる	め、市内金融	機関等に対	して資金を預言	もします 。		
	†象 ₋AN】	市内i	商工業事	章業者			-		滑な資 化を図		つれることで	市内企業の経	営安定化・活		
ために	実現の 必要な 【PLAN】	市内:	市内金融機関等に資金を預託することで、円滑な資金融資に努めてもらう。												
Į	事業費【	[D0]		年 単位	度	04年度 (実績		05年度 (実績))7年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)		
財源内訳	都道/ :	庫支出 府県支 地方値 その他 ・般財 業費合	z出金 [5 	千円 千円 千円 千円]]]	165, 165,	0	0 0 0 165, 600 0 165, 600							
(1)	伊達市第	第3次	:総合計[画実施	計画の「数	値目標」	の進	渉に関する	評価【	DO]					
	指標	名		単位	達成条件	区分	F	85年度	R6⁴	手度 I	R7年度	R8年度	R9年度		
					実績値が	目標値	10	65, 600	165,	, 600 1	65, 600	165, 600	165, 600		
	貸付金	総額		千円	目標値	実績値	. 1	65, 600							
					以上となること	達成率	1	00. 0%							
(2)	チェック	ク項目	による	評価【	CHECK]					1	l.	L			
			i	評価視	点						評価の結果				
要・	市民二一 社会的需 事務事業	要に	ついてと	ごうか	は高いもので	であるか						は必要であるた 金など使い勝∃			
対して	施策項目 待できる 市民満足 社会貢献	か !度に	ついては	はどうた		こついて	は期	近隣市町村しを進めて	-		ないため、ī	市制度融資の領	⊱件等の見直		
率 • 日	費用を抑 時間を削 当初の計	減す	る工夫に	は行った		よあった ;	か			直しているこ 頃向となる。	とから、利	用者が増加する	る可能性があ		
(3)	3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】														

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

統合

事業全体を通して評価できた点、課題や 改善点など

事務事業評価表

部 長 課 長 係 長 担当者

			_	_		_	
令和	_	左	荦	#	七七	审	ᄴ
	:	ж	14	≠	лнл	₽	=

					サイロン十万	大心于木									
事業名	地垣	域経 済	\$活性	ŧ化事	事業(市制度	資金保証料	補助)	担当課		商工観光	課				
基本目標	4	活力。	とにき	わいる	あふれる産業の	まち		担当係		商工振興係					
施策項目	4	工業	・企業	誘致				計画期間	令和 5	5年度 ~	令和5年度				
主な取組	1	企業組	経営の	安定	との支援			事業区分		補助					
予算科目	会計	款	項	目											
了异 件 日	1	7	7 1 2 地域経済活性化事業(市制度資金保証料補助)												
目的と方針 【PLAN】	_	域経済 進めま		展と雇	用の創出に向い	ナ、既存企業の	経営の安況	定化・活性化	を支援する	とともに、新	たな企業の誘				
事業概要 【PLAN】		内商工 助しま		振興を	目的に、中小値	企業者の資金供	給を円滑(こ行うため、	融資を受け	た事業者に対	し信用保証料				
対象 【PLAN】	市制	度資金	意図 で資金を利用する事業者 意図 「PLAN」 市内企業の経営安定化・活性化が図られるよう融資を受けや												
意図の実現の ために必要な こと【PLAN】	市制	制度資金を借りる事業者の信用保証料を補助することで、融資を借りやすくする。													

	事業費【DO】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
事未貞【100】		[00]	単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
		庫支出金	千円		0	0				
具		府県支出金	千円		0	0				
沥	?	地方債	千円		0	0				
Þ		その他	千円		4, 413	1, 445				
言	- ۶	一般財源	千円		0	0				
	事	業費合計	千円		4 413	1.445				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	2	4	6	8	10
信用保証料補助件数	件	目標値 以上 と	実績値	5				
		なること	達成率	100. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	社会的需要についてどうか	融資にかかる信用保証料を補助することから、利用者にとってニーズが高く、社会的需要もある。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	保証料を補助することで資金供給が円滑になり、目標達成に向けた 事業効果が期待できる。
効率性	・時間を削減する工夫は行ったか	事務については補助金の交付事務のため、削減の余地はないと考える。 補助額については、今後市制度融資の条件が見直され利用者が増加 していくと想定される。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や 改善点など	商工業振興対策事業に統合する。
------------	----	-----------------------------	-----------------

事務事業評価表

部 長 課長 係 長 担当者

					令和 5	5年度	実施	事業							
Ę	事業名		<u> </u>	有工為	美振興対 第	表事業	(再	掲)		担当	i課		商工観光	果	
基	本目標	4	活力と	にぎわ	いあふれる	産業のま	まち			担当	i係		商工振興	系	
施	策項目	4	工業・	企業誘	致					計画	朝間	令和5年	年度 ~	令和7年度	
主	な取組	2	地場産	業の活	性化の支援					事業区分 直営					
7	₩ 1.1 □	会計	款	項	目					大事業	ŧ	l			
予	·算科目	1	7	1	2		商工業振興対策事業								
	的と方針 [PLAN]		或経済 <i>の</i> 進めます		と雇用の創と	出に向け	、既存	存企業の紹	経営の安置	定化・活性	生化を支	援すると	ともに、新た	-な企業の誘	
	業概要 [PLAN]	市	内商工業	美の振り	興に向け伊遠	達市商工	政策審	緊議会を開	見催し、i	市内商工	業の振興	・活性化	を推進します	- 0	
	対象 [PLAN]	市内i		≨業者				t図 _AN】	市内商工	業が活発	な経済活	舌動が行れ	つれること		
ため	の実現の に必要な 【PLAN】	市内部	市内経済団体の長などで組織した伊達市商工政策審議会において、市内商工業の振興・活性化を協議する。												
	事業費	[DO]		年 単位	度	04年月		05年度 (実績)		年度 予算)	07年) (予算		08年度 (予算)	09年度 (予算)	
財源	都道	庫支出 府県支 地方値	出金	千P 千P 千P	9		0 0 0		0 0	0 4, 440 0					
内訳		その(t-般財	<u>b</u>	千円	9		0 375	22, 9		192, 756 23, 213					
八		業費台		千円			375	22, 9		220, 409					
(1))伊達市領	第3次	総合計画	画実施	計画の「数	値目標」	の進	渉に関する	る評価【	[DO]					
	指標	名		単位	達成条件	区分	R	85年度	R64	年度	R7年J	度	R8年度	R9年度	
					実績値が	目標値	Ī	2	:	2	2		2	2	
商	工政策審認	議会開	催数	回	目標値 以上 と	実績値	<u>ī</u>	2							
					なること	達成率	<u> </u>	00. 0%							
(2)) チェック	ク項目													
			į	評価視	点						評価	の結果			
要	・市民ニー ・社会的需 ・事務事業	要に	ついてと	ごうか	は高いもので	であるか			業の状況				組織であり、 必要があるこ		
勃	・施策項目 待できる ・市民満足 ・社会貢献	か 建度に	ついては	よどうフ		こついて	は期						計画の策定な 効果は高く、		
率	・費用を抑 ・時間を削 ・当初の計	減す	る工夫に	けつか		はあった	か	協議内容			·文書会	議にする	など、時間や	専用を抑え	
(3)) 今後の2	 方向性	及び事	業全体	を通して評	価できた	-点、i	課題や改善	<u></u> 善点など	[ACTION]				

(3)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

維持

改善点など

事業全体を通して評 令和5年度は市長からの諮問に対し、商店街の活性化策を答申することができ価できた点、課題や た。次年度は商工業振興計画の改定の準備期間となることから、市と連携し意見 交換しながら事前調査を行っていく必要がある。

事務事業評価表

部 長 課 長 係 長 担当者

						令和 5	年度	実施	事業								
事	業名			ふる	るさ	と納税	事務	(再排	曷)		担	当課		i	商工観光	課	
基本	本目標	4	活力と	こにぎ	わい	あふれる	産業のる	まち			担	当係		!	物産振興	係	
施領	策項目	4	工業・	企業	誘致						計画	期間	令和	5年度	₹ ~	令和7年度	
主な	な取組	2	地場產	産業の	活性	化の支援					事第	医分			一部委訂	ŧ	
マ ク	수 사 ㅁ	会計	款	項	目						大事	業					
丁身	算科目	1	2	1	1						一般管	一般管理費					
	と方針 PLAN】		地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘 を進めます。														
	業概要 PLAN】	_	ふるさと納税(寄附)を通して伊達市の特産品、名産品等返礼品の登録事業者を増やし、魅力ある返礼品の充 実を図ります。														
	対象 PLAN】	ふる	さと納	税返礼	礼品等	事業者		-	図 _AN】		のふるさ。 を知るこ。			充実し	、全国の	方々が伊達市	
ために	の実現の こ必要な 【PLAN】					きの募集、 け。また、									と納税返	礼品として登	
	事業費【	[DO]		1 N	年度		04年月		05年度		06年度		年度		年度	09年度	
		車支出	金	単位	<u>/</u> -円		(実績	0	(実績)	0	(予算) 0	(7	5算)	(予	(算)	(予算)	
財	都道	府県支	出金	Ŧ	-円			0		0	0						
源中		地方侵			-円			0		0	0						
	内 その他 千円 訳 一般財源 千円							, 674	265,	•	281, 064						
	事業費合計 千円								265,		281, 064						
(1)	伊達市第	有3次	総合計	画実	施計	画の「数値	直目標」	の進	渉に関す	る評価	[DO]						
	指標	名		単	位	達成条件	区分	F	85年度	R	6年度	R7:	年度	R8:	年度	R9年度	
	実績値が 目標値 76										82		88	(94	100	
1					- 11	ᇽᄺᄻ	1			1							

(2)チェック項目による評価【CHECK】

返礼品登録事業者数

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	ふるさと納税返礼品事業者を増やすことで、ふるさと納税の寄付額 を増やし、持続可能な商業地づくりつながるため優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	伊達市ふるさと納税返礼品を充実させるために、ふるさと納税返礼品事業者を増やすための事業者説明会や募集、参画交渉は有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	今まで紙で受付していたワンストップサービスのオンライン化を図り、費用を抑えながら作業時間の削減に努めた。

90

100.0%

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

目標値

以上 と なること 実績値

達成率

今後の 方向性	拡充		TIME C TO THE METAL OF THE TELES
------------	----	--	----------------------------------

事務事業評価表 今和5年度宝施事業

係 長 部長 課長 担当者

団体への支援を行うことで目標達成に向けた事業効果が期待でき

事務については補助金の交付事務のため、削減の余地はないと考え

補助額については、各団体との協議により精査していく。

					令和 :	5 年度第	E施事業							
事	業名			商店	街活性化	(事業(再掲)		担	当課		商工観	光課	
基本	5目標	4	活力と	こにぎわ	いあふれる	産業のま	ち		担	当係		商工振	興係	
施策	5項目	4	工業・	企業誘	致				計画	画期間	令和 5	年度 ~	令和5年度	
主な	い取組	2	地場産	産業の活	性化の支援	į		事業区分補助						
	* 1.1 C	会計	款	項	■				大事	業				
予 昇	算科目	1	7	1	2			Ē	あ工業振興	対策事業				
	と方針 LAN】	_	域経済 進めま [・]		≃雇用の創む	出に向け、	既存企業の)経営の5	安定化・活	5性化を支	:援すると	ともに、親	断たな企業の	
	巻概要 LAN】	市	内の優	れた地均	易産業を育り	ず・維持す	けるため市内	団体の3	支援を行い	います。				
対象 【PLAN】 地場産業団体 意図 各事業者の経営の安定化・活性化を図ることで、持続 【PLAN】 地場産業を目指す。														
ا ځ :	ジ要な 【PLAN】 事業費【		産業団 ⁽	年	度	04年度		变	支援する。 06年度 (予算)	07年』		08年度	09年度	
		車支出	1 金	単位 千円	1	(実績)	(実績	(実績) (³		(予算	_)	(予算)	(予算)	
財			5出金	千円		2, 0	-	, 040						
源		地方侵		千円			0	0						
内		その他		千円				5, 176						
訳		般財		千円			7, 363 0 2, 932 6, 216							
(1)	•	業費合 63次		一 千円		,	932 6 の進捗に関 ⁻		[D0]					
	 指標	名		単位	達成条件	- 区分	R5年度	R	6年度	R7年』		R8年度	R9年度	
					実績値が	目標値	2		2	2		2	2	
也場産	業系団 体	本への)支援数	女 件	目標値 以上 と	実績値	1							
					なること		50. 0%							
(2)	チェック	7項目	による	 評価【(CHECK]									
				評価視	点					評価	の結果			
要・	市民二一 社会的需 事務事業	要に	ついて	どうか	t高いもの ⁻	であるか		真綿協会については、高齢化等により会員が減少しているが伝承原業であり団体育成の支援が必要である。						
f · !	施策項目	の目標	標達成	に向けが	と事業効果(こついては	は期							

る。

る。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

待できるか

効

率

効 ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか

・費用を抑える工夫は行ったか

・時間を削減する工夫は行ったか

性 ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか

事業全体を通して評 今後の 価できた点、課題や 商工業振興対策事業へ統合する。 統合 方向性 改善点など

事務事業評価表 令和5年度実施事業

部 長 課 長 係 長 担当者

事業名				企	業誘致推進	事業	担当課	商工観光課					
基本目標	4	活力	とにき	わいる	あふれる産業の	まち	担当係	商工振興係					
施策項目	4	工業	・企業	誘致			計画期間	令和5年度 ~ 令和7年度					
主な取組	3	企業	誘致の	推進			事業区分	一部委託					
予算科目	会計	款	項	目				大事業					
了异代日	1	7	1	2	企業誘致推進事業								
目的と方針 【PLAN】	地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。												
事業概要 【PLAN】	伊	伊達市の立地環境を広くPRし、企業の伊達市への立地を誘導します。											
対象 【PLAN】	立地:	企業等	-			意図 【PLAN】		地、雇用の増加から、伊達市の製造品出荷額が増 fが活性化すること。					

意図の実現の ために必要な こと【PLAN】

ために必要な工業団地への企業立地が進み、進出企業や既存企業の投資等が増える状態。

04年度 07年度 09年度 年度 05年度 06年度 08年度 事業費【DO】 単位 (実績) (予算) (予算) (実績) (予算) (予算) 国庫支出金 千円 0 0 0 100,000 千円 0 都道府県支出金 0 145, 500 272, 710 源 千円 0 0 地方債 内 49, 877 258, 248 その他 千円 7, 141 一般財源 千円 7, 655 2, 364 事業費合計 千円 525, 865 57, 018 260, 612

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	4	4	5	5	6
セミナー、展示会等 でのPR回数		目標値 以上 と なること	実績値	3				
COPK回奴			達成率	75. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	市の経済活性化および市民の雇用創出の場を確保するため、市民ニーズおよび社会的需要は高いと推察される。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市主催のセミナーや展示会の情報交換から新工業団地の企業誘致に繋がったことから、有効だと考える。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地域雇用創出・産業活性化基金繰入金を主な特例財源とし、一般財 源の使用を抑えている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

事務事業評価表 **今和5年度宝坻**重要

部長 課長 係 長 担当者

令和 5 年度実施事業																	
事美	業名	工業団地維持管理事業										当課		商工観	光課		
基本	目標	4	活力。	とにぎ	わい	あふれる	産業のま	ち			担当係			商工振興係			
施策	項目	4	工業	・企業	誘致						計画	計画期間 令和5年			令和7年度		
主な	取組	3	企業記	秀致の	推進						事業区分 一部委託						
予質	予算科目		款	項	目					大事業							
), 31	FITH	1	8	4	3		工業団地維持管理事業										
目的と方針 【PLAN】 地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の設立を進めます。											新たな企業の誘						
事業概要 【PLAN】 工業団地を適切に管理し、立地企業の操業環境を維持します。																	
	†象 ∟AN】	市内:	工業団	地					t図 _AN】								
意図の実現の ために必要な こと【PLAN】																	
1	事業費【	D0]		77 /	年度		04年度		05年度		年度	07年月		08年度	09年度		
		· - 車支出	· 金	単位	<u>I</u> -円		(実績) 0		(実績)	()	予算) 0	(予算	<u>l</u>)	(予算)	(予算)		
財		库文山业 府県支出金			千円		0		0		0						
源		地方債			円		0			0	0						
内		その他			-円		0			0	57						
訳		-般財源 業費合計			千円 千円		2, 560 2, 560		6, 91		4, 918 4, 975						
(1)	伊達市第	第3次	総合記	画実	施計	画の「数値	直目標」	の進	歩に関する	評価【	D0]				_		
	指標名					達成条件			5年度	R6≄	丰度	R7年J	度	R8年度	R9年度		
						実績値が 目標値	目標値	6		(6	6		6	6		
工業	工業団地の除草箇所				3	以上 と	実績値		8								
			所		以エ こ ぶること			00.0%									
(2) チェック項目による評価【CHECK】																	
		評価視点							評価の結果								
要・社	要・社会的需要についてどうかのは会には、「単一に来り」。									Σ地企業の操業環境を維持するため、社会的需要および事務事業の 優先度は高いものと考える。							
対して	付じさるか							工業団地内の調整池の除草や水路等の除草を実施することで、立地企業の操業環境の維持が期待できる。									

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

維持

効 ・費用を抑える工夫は行ったか

率 ・時間を削減する工夫は行ったか

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

性 ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか

本事業は目標値を上回って達成することができた。なお、市内工業団地の維持管 理は継続して行う必要がある。

費用を削減するため、委託回数を抑え、1度に広範囲の除草作業を

委託している。